

クリエイティブなデータの管理



Extensis™

# Portfolio<sup>TM</sup> Server

Portfolio Server and Portfolio SQL Connect

ユーザーガイド





# 連絡先

## Extensis

1800 SW First Avenue,  
Suite 500 Portland, OR 97201 USA  
電話: +1 (503) 274-2020  
FAX: +1 (503) 274-0530  
インターネット: <http://www.extensis.com>

## Extensis Europe

First Floor, Century House  
The Lakes  
Northampton NN4 7SJ  
United Kingdom  
電話: +44(0)1604 636 300  
FAX: +44 (0)1604 636 366  
電子メール: [info@extensis.co.uk](mailto:info@extensis.co.uk)

©2005 Extensis, a division of Celartem, Inc. 本書ならびに本書に記載されているソフトウェアは著作権保護の対象であり、無断複写・複製・転載が禁止されています。本書または本書に記載されているソフトウェアの全部または一部を、Extensisの書面による承諾なしに複製することはできません。ただし、ソフトウェアの通常の利用やソフトウェアのバックアップ作成は除きます。この例外であっても他者に対する複製は許可されません。登録済みおよび申請中の米国特許に基づいてライセンス化されています。

ExtensisはExtensisの商標です。Extensisのロゴ、Extensis Library、Font Reserve、Font Reserve Server、Font Vault、Font Sense、Portfolio、Portfolio Server、Portfolio NetPublish、NetPublish、Suitcase、Suitcase ServerはExtensisの商標です。Celartem、Celartem, Inc.、Celartemのロゴ、PixelLive、PixelSafeはCelartem, Inc.の商標です。Adobe、Acrobat、Illustrator、Photoshop、PostScriptはAdobe Systems, Incorporatedの商標です。Apple、Apple Script、FontSync、Macintosh、Mac OS 9、Mac OS X、PowerPC、QuickDrawはApple Computer, Inc.の登録商標です。Microsoft、Internet Explorer、Windows、Windows XP、Windows 2000、Windows NT、Windows ME、Windows 98はMicrosoft Corporationの登録商標です。その他すべての商標は各社が所有しています。

## 株式会社セラーテムテクノロジー

電子メール: [sales\\_ap@celartem.com](mailto:sales_ap@celartem.com)  
<http://www.celartem.com/jp/>

## プレスに関するお問い合わせ

電話: (503) 274-2020 x129  
電子メール: [press@extensis.com](mailto:press@extensis.com)

## カスタマーサービス

インターネット: <http://www.extensis.com/customerservice/>  
電話: (800) 796-9798

## テクニカルサポート

インターネット: <http://www.extensis.com/support/>

## マニュアルに関するご意見

インターネット: <http://www.extensis.com/helpfeedback/>

本製品の一部では、さまざまなオープンソースプロジェクトで開発されたソフトウェアコンポーネントを使用しています。そうしたコンポーネントのソースコードのライセンスおよび使用可能性については、本製品に付属する著作権表示ファイルであるLICENSES.TXTに示されています。ソフトウェアコンポーネントの利用に関する情報については、該当するライセンスを参照してください。

Extensisは、製品の購入日より30日間、通常の使用状況において、ソフトウェアが記録されているディスクに材質上および製造上の欠陥が無いことを保証します。製品をExtensisから直接購入し、30日以内に障害が発生した場合、ディスクをExtensisに返送いただければ交換いたします。交換用に送付されたすべての製品は、交換の前にExtensisで登録する必要があります。販売店から購入したExtensis製品は販売店によって保証され、販売店の返品規定の対象となります。この保証は交換に限定され、その他の損害を含みません。その他の損害には、利益の損失、特殊な要求、付随的な要求、その他の同様の要求などがありますが、これらに限定されるものではありません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供されます。上記の明示的な保証を除き、Extensisは、同梱のソフトウェアの品質、性能、商品性、または特定目的の適合性に関して、明示的または暗黙的を問わず他のいかなる保証もいたしません。



# 目次

<b>Portfolio Server の紹介</b> .....	<b>1</b>
技術サポート.....	1
本書の内容.....	1
<b>Portfolio Server</b> .....	<b>3</b>
サーバー管理とカタログ管理.....	3
システム条件.....	4
インストールとセットアップの手順.....	4
サーバーのインストール.....	4
シリアル番号の登録.....	6
公開カタログへのアクセス.....	7
Portfolio Server の設定.....	8
オートシンクフォルダ.....	10
<b>Portfolio SQL Connect</b> .....	<b>13</b>
Portfolio SQL Connect によるこそ.....	13
システムとソフトウェアの必要条件.....	13
Microsoft Windows での ODBC ドライバおよび DSN の設定.....	15
Portfolio SQL Connect のインストール.....	17
SQL データベース (Portfolio のカタログ) の公開.....	17
Portfolio SQL Connect のシリアル番号の登録.....	20
<b>SQL データベース管理ツール</b> .....	<b>21</b>
データベース管理ツールのインストール.....	21
DBA ツールの起動.....	21
データベース管理ツール.....	22
データベースへの接続.....	23
データベースバージョンのアップグレード.....	24
SQL クエリーの実行.....	25
DBA ツールのトラブルシューティング.....	26
<b>設定ファイル</b> .....	<b>27</b>
<b>索引</b> .....	<b>31</b>



# Portfolio Server の紹介

Portfolio Server（ポートフォリオ サーバー）は、標準の Portfolio クライアントソフトウェアから Portfolio のカタログへのアクセスを実現する、強力なデータベースサーバーです。通常のサーバーアプリケーションと異なり、Portfolio Server はセットアップも使用も簡単で、保守もほとんど必要ありません。

Portfolio SQL Connect（別売品）を利用すれば、Portfolio Server とクライアントアプリケーションは、Microsoft SQL Server や Oracle などの SQL データベースサーバー上に Portfolio のカタログを作成することができます。これらの SQL データベース上にあるカタログは、Portfolio クライアントアプリケーションでは標準の Portfolio のカタログと見なされますが、SQL データベースの高度な統合機能と一括管理を利用することが可能になります。

Portfolio NetPublish Server（別売品）では、Portfolio のカタログから静的または動的な Web サイトを作成することができます。サイト作成の専門家である必要はありません。NetPublish Assistant が、すべてのサイト作成プロセスをステップで、ご案内します。また、上級ユーザーは、強力なサーバーサイドの JavaScript API を利用してカスタムサイトを作成することもできます。

## 技術サポート

詳細は、登録はがきをご覧ください。

\* サポートを受けるには、ユーザーの登録が必要になります。

## 本書の内容

本書では、Portfolio Server Macintosh 版および Windows 版について説明します。キーボードショートカットの説明で、「コマンド」は、Macintosh の ⌘ キーに相当します。メニュー選択は、「メニュー」>「コマンド」というように表されています。具体的な Portfolio 機能の詳細については、次の文書を参照してください。

- お読みくださいファイルー Portfolio フォルダ上のこのテキストファイルには最新情報が収められています。
- Extensis Web サイトの Portfolio ページ：  
<http://www.extensis.co.jp>





# Portfolio Server

Portfolio Server は、標準の Portfolio クライアントソフトウェアから Portfolio のカタログへのアクセスを実現する、強力なデータベースサーバーです。また、通常のサーバーアプリケーションと異なり、Portfolio Server はセットアップも使用も簡単で、保守もほとんど必要ありません。

この章では、Portfolio Server のセットアップ、構成、および管理について説明します。

Portfolio Server には、次のような多くのメリットがあります。

- **Portfolio Server** では、複数のクライアントから単一のカタログへの同時接続が実現できます。
- サーバー管理とカタログ管理は、標準の **Portfolio** クライアントアプリケーションから行います。管理は、クライアントのプラットフォームにかかわらず、どのクライアントからも TCP/IP を介してリモートから実行します。
- 公開される **Portfolio** のカタログはネットワーク共有では利用できないため、高いレベルのネットワークセキュリティを確保することができます。
- カタログはすべて単一の場所に格納されるので、バックアップやデータベースファイルの管理は簡単で、共有カタログの整合性を保つことができます。
- ネットワーク管理者は、クライアントのプラットフォームにかかわらず、**Portfolio** のカタログへの同一のアクセス方法を提供することができます。Macintosh、Windows を問わず、ユーザーは公開されているカタログにアクセスするために別のファイル共有アプリケーションを実行する必要はありません。

## サーバー管理とカタログ管理

Portfolio Server と Portfolio クライアントアプリケーションを併用する場合は、2つの異なるタイプの設定を利用することができます。

**サーバー管理：**サーバー管理者が Portfolio Server を管理する権限を持ちます。さらに、サーバー管理者によって、サーバー上でカタログを作成したり、開いたり、閉じたりすることができます。クライアントアクセスを追加する場合は、専用のマルチユーザーシリアル番号をサーバーに追加します。この節では、サーバー管理者の役割について説明します。

**カタログ管理：**カタログ管理者が、特定のカタログについて管理者レベルの機能にアクセスする権限を持ちます。カタログの作成、管理の詳細については、『Portfolio ユーザーガイド』を参照してください。



## システム条件

### Macintosh:

- Mac OS X Server 10.3 以降
- Mac OS X Server に対応した、1GHz 以上のコンピュータ
- 512MB 以上の RAM (1GB 推奨)
- 100MB 以上のハードディスク空き容量
- クライアント接続のためのネットワークインターフェイス
- QuickTime 6.5 以上

### Windows:

- Windows 2000 Server、Server 2003、またはそれ以上
- 上記のシステムに対応した、1GHz 以上のコンピュータ
- 512MB 以上の RAM (1GB 推奨)
- 100MB 以上のハードディスク空き容量
- クライアント接続のためのネットワークインターフェイス
- QuickTime 6.5 以上

Portfolio Server ソフトウェアは通常、高速のプロセッサ、大容量の物理メモリー、マルチプロセッサ、高速のネットワーク接続、および高速のハードディスクを利用するほどパフォーマンスが高くなります。



Extensis では、TCP/IP サービスの構成、DNS サービスのセットアップ、ファイアウォールの構成などのネットワーク関連の問題についての技術サポートは提供していません。これらの問題については、システム管理者または製品ベンダーの技術サポートにお問い合わせください。

## インストールとセットアップの手順

Portfolio のインストールとセットアップの手順は、次の簡単なステップに従ってください。

1. Portfolio Server をインストールします。
2. Portfolio Server を起動します。または、Windows サービスを開始します。
3. Portfolio Server を追加します。
4. Portfolio Server のシリアル番号を登録します。
5. Server 上にカタログを作成します。
6. 公開されたカタログに接続します。

各ステップの詳しい説明は、次のページ以降に記載されています。

## サーバーのインストール

Portfolio Server のインストールは短時間で簡単に行えます。インストーラを立ち上げ、指示に従うだけです。



Windows では、Portfolio Server をインストールするために管理者の権限でログインする必要があります。

Windows 2000、または Windows Server 2003 では、Portfolio Server サービスを実行しているアカウントは、パワーユーザー権限または管理者権限でローカルマシンにログインする必要があります。これは、Portfolio クライアントが Portfolio Server にアクセスし、管理するために必要です。

Portfolio Server アプリケーションそのものにユーザーインターフェースはありません。サーバー機能へのアクセスは、標準の Portfolio クライアントアプリケーションソフトウェアを介して処理されます。

## Mac Server の起動または Windows サービスの開始

Windows 環境では、Portfolio Server はシステムサービスです。Portfolio Server を利用するには、事前にサーバー（サービスをアクティブにするには、事前にサーバー（Windows 環境）上で、このサービスを開始しておく必要があります。サービスを開始するには、「スタート」、「コントロールパネル」、「管理ツール」、「サービス」の順にクリックします。リストから「Portfolio Server」を選択し、「開始」をクリックします。

ドメインで使用する場合、サービスは、必要なすべてのアセットフォルダへのアクセス権を持つアカウントとしてログオンする必要があります。アセットとは、ユーザーが Portfolio のカタログに追加する可能性があるすべてのものです。この場合は、サービスに対する新しいアカウントを作成するか、必要な権限を持つ既存のアカウントを使用します。



Microsoft Windows ワークグループ環境に Portfolio Server をインストールする場合は、Portfolio Server のサービスは、サーバー上で管理レベル以外のアカウントで、ログオンする必要があります。この場合は、サービスのプロパティを表示し、「ログオン」タブを選択し、「アカウント」のチェックマークをオンにして、アカウント情報を入力します。ワークグループ上のその他のマシンはすべて、作成したサーバーアカウントと同じアカウントを持っていないかもしれませんが、ログインする必要はありません。

## Macintosh 環境でのインストールと起動

Mac では、Portfolio Server ランチャを使用してサーバーを開始します。ランチャをダブルクリックして開き、「開始」をクリックしてサーバーを開始します。

Portfolio Server は現在のユーザーの「開始 / ログインアイテム」に自動的に追加されます。現在のユーザーがログインするたびに、Portfolio Server は自動的に開始します。ランチャを使用して、Portfolio Server を停止および無効にすることもできます。「無効」ボタンをクリックすると、サーバーが停止し、現在のユーザーに対する「開始 / ログインアイテム」リストから Portfolio Server が削除されます。

## Portfolio Server の追加

Portfolio Server 上でカタログを公開するには、事前にサーバーを利用できるようにしておく、つまりサーバーの場所を Portfolio アプリケーションに通知しておく必要があります。これは、「サーバーの設定」ダイアログボックスを使って行います。

### Portfolio Server を追加する場合

1. Portfolio クライアントアプリケーションを起動します。

カタログを開いておく必要はありません。

2. 「ファイル」> 「サーバーの設定」を選択します。

「サーバーの設定」ダイアログボックスが表示されます。サーバーが追加されていない場合、サーバーリストは空白です。

3. 「サーバーの追加」をクリックします。

4. サーバーの名前と IP アドレスを入力します。「IP アドレス」テキストボックスでは DNS 名を使用することもできます。



サーバーの IP アドレスと DNS 名を見つける方法については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

5. 「OK」をクリックします。

サーバーがリストに追加されて、ユーザーがアクセスできるようになります。

## シリアル番号の登録

Portfolio Server をアクティブにするには、Portfolio Server のシリアル番号が必要となります。最初に Portfolio Server をインストールすると、30 日間デモモードで実行されます。デモ期間後、継続して Portfolio Server を使用するには、有効なシリアル番号を入力する必要があります。

### Portfolio Server にシリアル番号を登録する場合

1. 「ファイル」>「サーバーの設定」、「サーバーの選択」、「設定」の順にクリックします。



Portfolio Server のシリアル番号を登録する前に、リストにサーバーを追加してください。詳しくは、本ユーザーガイドの次ページをご覧ください。

2. 「設定」ダイアログボックスで、「シリアル番号」をクリックします。

「シリアル番号」ダイアログボックスが表示されます。

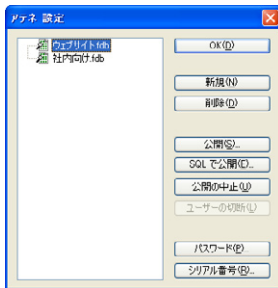
3. 「追加」をクリックします。

「シリアル番号の追加」ダイアログボックスが表示されます。

4. Portfolio Server のシリアル番号を入力し、「OK」をクリックします。

「OK」をクリックすると、「シリアル番号」ダイアログボックスに戻ります。新たに入力した番号がリストに表示されます。

5. 「完了」をクリックし、「サーバーの設定」ダイアログボックスに戻ります。



## サーバー上のカタログの作成

選択されているサーバーの「設定」ダイアログボックスから Portfolio Server 上で公開する新しい（空の）カタログを作成することができます。

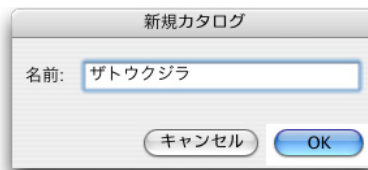
### Portfolio Server にカタログを追加する場合

1. 「ファイル」>「サーバーの設定」、「サーバーの選択」、「設定」の順にクリックします。

2. 「サーバーの設定」ダイアログボックスで、「新規」をクリックします。

「新規カタログ」ダイアログボックスが表示されます。

3. 作成するカタログの名前を入力します。



4. 「OK」をクリックします。

カタログは、サーバーマシン上の Catalogs フォルダ内に追加されます。

— または —

1. Portfolio クライアントからカタログを作成します。
2. カatalogを（オペレーティングシステムを介して）サーバー上の Catalogs フォルダにコピーします。

Windows 環境でのデフォルトの場所は、C:\Program Files\Extensis\Portfolio 8.0 Server\Catalogs です。

Mac 環境では、/Applications/Portfolio 8 Server/Catalogs/ です。

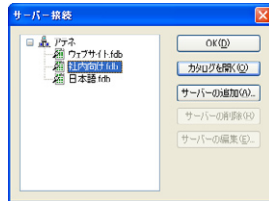
この方法でも、カタログを公開して、ユーザーが利用できるようになります。

## 公開カタログへのアクセス

カタログを公開すると、ユーザーにカタログへのアクセスを許可します。ここでは、サーバー設定に関する処理処理について説明します。

### 公開カタログにアクセスする場合

1. アクセス権を与える Portfolio Server の名前と IP アドレスを書き留めます。
2. ユーザーにサーバーの名前と IP アドレスを提供します。
3. ユーザーのコンピュータで Portfolio を起動し、「ファイル」>「サーバー接続」を選択します。「サーバー接続」ダイアログボックスが表示されます。
4. 「サーバーの追加」を選択し、Portfolio Server の名前と IP アドレスを入力します。
5. 「OK」をクリックします。
6. 「サーバー接続」ダイアログボックスで、「+」マークをクリックし、公開されているカタログのリストを表示します。



7. 公開されているカタログをクリックしてハイライトし、「サーバーを開く」をクリックします。公開されているカタログが Portfolio クライアントに表示されます。

### 公開カタログへのアクセスについての注意事項

- クライアントマシンがサーバーにアクセスするためには、TCP サービスがアクティブになっていなければなりません。Mac OS クライアントでは、マシンが Open Transport TCP 1.1 以上を使用している必要があります。従来のネットワーキングはサポートされていません。
- クライアントは、公開されているカタログに管理者モードでアクセスできますが、そのためには、まず他のすべてのユーザーを切断させる必要があります。ユーザーの切断は、「サーバーの設定」ダイアログボックスから実行できます。また、ユーザー自身が接続を切ることもできます。管理者モードですでに開かれているカタログは、クライアントの「サーバーへの接続」ダイアログボックスにはリストされません。
- クライアントアプリケーションは、ユーザーの「表示設定」で設定されているモードでカタログを開こうとします。「管理者」に設定されている場合、クライアントアプリケーションは自動的に発行者モードでカタログに接続しようとしています。



カタログにパスワードが必要な場合は、パスワードの入力が求められます。

- クライアントのインストールと使用の詳細については、『Portfolio 8 ユーザーガイド』を参照してください。

## Portfolio Server の設定

Portfolio Server は、Portfolio クライアントからアクセスして設定します。Portfolio Server を管理する場合は、「ファイル」>「サーバーの設定」を選択します。

ネットワークを介して Portfolio Server が利用できるようなると、サーバー管理者は次の操作を行うことができます。

- 公開するカタログが作成できます。
- カタログを公開および公開中止することができます。
- Portfolio SQL Connect（別売品）カタログを開いたり、閉じたりすることができます。
- 個々のユーザーを切断できます。
- サーバー管理パスワードを設定/変更できます。
- 専用のマルチユーザーシリアル番号を入力することでマルチユーザーアクセスを追加できます。

カタログの詳細については、『Portfolio ユーザーガイド』を参照してください。

## カタログの公開および公開中止

Portfolio Server 上でカタログを公開する（使用できるようにする）場合

1. 「ファイル」>「サーバーの設定」、「サーバーの選択」、「設定」の順に選択します。
2. 「サーバーの設定」ダイアログボックスで、「公開」をクリックします。Portfolio Server 上の利用可能なカタログのリストが表示されます。  
— または —

Portfolio Server にアクセス可能なフォルダおよびボリューム間をナビゲートして、提供するカタログを探します。カタログを公開する場合、カタログは必ずしも Catalogs フォルダ上にある必要はありませんが、サーバー

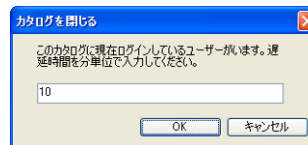
の Catalogs フォルダからカタログファイルまたはフォルダディレクトリへのエイリアス (Mac) またはショートカット (Win) が含まれていなければなりません。

Mac 環境でエイリアスを作成するには、Finder で、カタログを Ctrl クリックし、「エイリアスの作成」を選択します。Windows 環境でショートカットを作成するには、Windows エクスプローラで、カタログを右クリックし、「ショートカットの作成」を選択します。新しいエイリアスまたはショートカットを Catalogs フォルダに移動します。

3. 公開するカタログを選択し、「公開」をクリックします。

### Portfolio Server でカタログの公開を中止する場合

1. 「ファイル」>「サーバーの設定」、「サーバーの選択」、「設定」の順にクリックします。
2. 公開されているカタログのリストから、公開を中止する（利用不可能にする）カタログを選択します。
3. 「公開中止」をクリックします。



ユーザーがそのカタログに接続している場合は、警告ダイアログボックスが表示されます。カタログが閉じるまでの遅延時間を分単位で入力することができます。

接続ユーザーに閉じようとしていることが通知されるので、ユーザーはそのカタログに関連するウィンドウと接続を閉じることができます。

## ユーザーの切断

1. 「ファイル」>「サーバーの設定」、「サーバーの選択」、「設定」の順にクリックします。
2. 公開されているカタログのリストから、切断しようとするユーザーが接続しているカタログを探すには、展開の矢印をクリックしてカタログ上のアクティブユーザーのリストを表示します。
3. 切断するユーザーを選択します。
4. 「ユーザーの切断」をクリックします。そのユーザーはすぐに切断されます。

ユーザーに自分自身を切断できる時間枠を提供する場合は、「公開の中止」を使用します。

## サーバー管理者のパスワード

Portfolio Server の管理者のパスワードを設定または変更する場合

1. 「ファイル」>「サーバーの設定」、「サーバーの選択」、「設定」の順にクリックします。
2. 「パスワードの設定」をクリックします。  
「パスワードの設定」ダイアログボックスが表示されます。
3. 新しいサーバー管理者のパスワードを入力して確認し、「OK」をクリックします。

パスワードを変更せずにダイアログボックスを終了する場合は、「キャンセル」をクリックします。

## Portfolio Server のシリアル番号の削除

この機能は、Portfolio Server を別の場所にセットアップする場合など、サーバー間でシリアル番号を移動したい場合に役立ちます。

### Portfolio Server からシリアル番号を削除する場合

1. 「ファイル」>「サーバーの設定」、「サーバーの選択」、「設定」の順にクリックします。
2. 「シリアル番号」をクリックします。「シリアル番号」ダイアログボックスが表示されます。
3. 削除したいシリアル番号をクリックしてハイライトし、「削除」をクリックします。

リストからそのシリアル番号が削除され、選択されているサーバー上で対応する接続が利用できなくなります。

## 公開されるカタログについての注意事項

### Portfolio Server とオリジナルファイル

Portfolio Server が公開するのは、カタログ化されているアイテムのレコードだけで、オリジナルファイルは公開しません。つまり、クライアントマシンが、コピー、移動、名前変更など、ソースファイルを必要とする機能を実行する場合は、ファイルシステムを介してオリジナルファイルにアクセスする必要があります。

### サーバーのポート番号

Portfolio Server はポート 2903 を介して動作します。他のアプリケーションとの競合を避けるため、サーバーマシン上でこのポートを使用しているサーバーソフトウェアが他にないことを確認します（現時点において、このポートアドレスを使用している他のアプリケーションの存在は確認されていません）。社内のファイアウォールを介してサーバーにアクセ

スしようとしているクライアントがある場合は、ネットワーク管理者は、ファイアウォール上に、このポートを開けておく必要があります。

サーバーのポート番号は変更可能です。詳細については、本書の「構成ファイル」の章を参照してください。

### Macintosh マウント / 共有

Portfolio Server を Macintosh 環境で実行している場合は、ユーザーが作成したオートシンクフォルダを含んでいる可能性があるすべてのネットワーク共有をサーバーにマウントすることも必要です。

また、Windows 版の Portfolio クライアントから Macintosh 版の Portfolio Server で公開されているカタログにオートシンクフォルダを追加する場合は、Macintosh 版のサーバーがマウントしている同じ場所から新しいフォルダの場所にナビゲートする必要があります。



Mac OS X のサーバー以外のバージョンで共有フォルダを構成するには **SharePoint** が役に立ちます。

<http://www.hornware.com/sharepoints/>


SharePoint を使用すると、古いバージョンの Macintosh の Finder のように、共有ポイントの追加、削除が容易になります。Mac OS X のデフォルトでは、共有できるのはホームディレクトリの公開フォルダのみです。このソフトウェアにより、すべてのフォルダの共有が容易になります。

## オートシンクフォルダ

オートシンクフォルダは基本的に、サーバーによって自動的に同期されるフォルダシンクのフォルダです。オートシンクフォルダのメリットは、サーバーがすべての作業を行ってくれる点です。このため、Portfolio Server がオートシンクフォルダを自動的に更新している間、カタログで他の作業を行うことができます。

新しいオートシンクフォルダは、Portfolio Server からアクセス可能な共有上に配置してください。マウントされている共有 (Mac) またはネットワークを通してブラウズ可能な共有に含まれているフォルダのみを追加できます。

### オートシンクフォルダを追加する場合

1. フォルダパレットで、「監視フォルダの追加」ボタンをクリックします。



フォルダパレットが表示されていない場合は、「表示」>「フォルダ」を選択します。

2. オートシンクフォルダとして監視するフォルダを選択し、「OK」をクリックします。



Portfolio Server の効率と速度を最大限に上げるには、監視フォルダをできるかぎり1つのフォルダにまとめ、そのフォルダをオートシンクフォルダとして追加してください。

3. 「オートシンクの設定」ダイアログボックスで、次のオプションから選択します。

### 監視および同期のオプション

「フォルダ内の変更をつねに監視する」オプションでは、サーバーがオートシンクフォルダ内のファイルやフォルダの変更の有無を確認するタイミングを指定します。変更が見つかったと、フォルダパレットでフォルダ名がハイライトされます。



## 同期するタイミング

このオプションでは、監視フォルダの変更をカタログに反映させるタイミングを指定します。

## カタログ作成オプション

### 同期時にカタログ作成オプションのプリセットを使用する

このオプションを使うと、保存したプリセットを使用しながらカタログにアイテムを追加することができます。ただし、事前にカタログ作成オプションを作成、保存しておく必要があります。

コピー、移動、名前の変更機能を含むプリセットも選択できますが、プリセットのこの機能は無視され、プロパティの割り当て（フィールド名、説明、キーワード）オプションのみが使用されます。保存したプリセットがプロパティの割り当てを含んでいない場合は、ドロップダウンリストには表示されません。

カタログ作成オプションのプリセットを作成し、保存する詳しい手順については、『Portfolio ユーザーガイド』の「Portfolio の設定」を参照してください。

## カタログ内のアイテムに対するオリジナルが見つからないとき

このオプションでは、オートシンクプロセスでオリジナルファイルが見つからなかった場合にカタログ内のアイテムを保持するか、削除するかを指定することができます。

## フォルダのソート設定

フォルダのソート設定は、最初にフォルダを開いた際の表示のソート順を制御します。任意のフィールドを使ってアイテムをソートするか、このフォルダの現在のソート順を適用することができます。現在のソート順を適用する場合は、作成したカスタムソートが、そのカタログレベルのフォルダに適用されます。


5. 「OK」をクリックしてオートシンクの設定を有効にし、さらに「OK」をクリックしてオートシンクフォルダを作成します。

## オートシンクフォルダの設定の変更

オートシンクフォルダを作成した後、オートシンクの設定は簡単に変更することができます。



オートシンクフォルダにアクセスするためのネットワーク権限がない場合は、同期フォルダとカタログ化したサムネールは表示されますが、フォルダをプレビューしたり、開いたりすることはできません。

1. 「フォルダ」リストで、オートシンクフォルダをクリックして選択します。
2. フォルダパレットの上部にある「オートシンクの設定」ボタン  をクリックします。
3. 「オートシンクの設定」ダイアログボックスで必要な設定を変更し、「OK」をクリックします。

## オートシンクプロセスの停止

オートシンクプロセスを停止するには、公開されているカタログからオートシンクフォルダを削除するか、カタログの公開を中止します。どちらを行っても、同期プロセスは停止されます。

オートシンクフォルダを削除した場合は、カタログにフォルダを再追加することで、必要に応じて同期を再開できます。

カタログの公開を中止した場合は、カタログを再公開すると、オートシンクはカタログの公開を中止したポイントから自動的に再開します。

## オートシンクフォルダとローカルパス

現在の Portfolio クライアントと同じコンピュータにオートシンクフォルダを追加すると、Portfolio は、共有選択オプションを表示します。共有選択オプションは、すべて新しいオートシンクフォルダへの有効なパスです。設定に最も適した共有パスを選択してください。

## サーバーのみの共有

オートシンクフォルダに含まれるオリジナルファイルにユーザーがアクセスできるようにする場合は、サーバーのみの共有を含むフォルダは追加しないようにしてください。サーバーのみの共有からは、ユーザーは、アイテムのサムネールへのアクセス、ファイルのプレビュー、メタデータのプロパティのみを利用できます。

## Portfolio Server へのローカルオートシンクフォルダ

Portfolio Server と同じコンピュータにオートシンクフォルダを追加すると、これらのフォルダを同期するのに必要なネットワークトラフィックの量が制限されます。このため、同じコンピュータで共有を作成し、オートシンクフォルダを追加する場合は、これらのフォルダの同期速度が、ローカルでないオートシンクフォルダの同期より著しく向上します。

## 重複した共有名

異なるターゲットディレクトリを持つが、同じ名前である共有の追加は避けてください。1つを `C:/mystuff/pictures/`、もう1つを `C:/documents/pictures/` をポイントするように設定している場合は、オペレーティングシステムと Portfolio Server の内部優先度により、予期しない結果になることがあります。

# Portfolio SQL Connect

## Portfolio SQL Connect によるこそ

Portfolio SQL Connect (別売品) は、Microsoft SQL Server や MySQL、Oracle などのリレーショナルデータベースに Portfolio Server がデータを保存できるようにするためのソフトウェアで、Portfolio からこうしたデータへのアクセスを行うことができます。

SQL データベースがセットアップされ、Portfolio SQL Connect と Portfolio Server が実行されていれば、カタログのアクセスと管理は、Portfolio Server で直接作成され保管されているカタログと同じように行うことができます。

## システムとソフトウェアの必要条件

Portfolio SQL Connect は、単一のユーザーにとって、強化機能を提供し、マルチユーザーの環境には絶えず変化するデータベースの利用を拡張できる、スケーラビリティなソリューションです。

次ページの表に、Portfolio SQL Connect の 3 つの Microsoft Windows 使用シナリオを示します。これらのシナリオは、SQL Connect および Microsoft SQL Server ソフトウェアのサポートに必要なハードウェアを判断する場合に役立つ一般ガイドラインとして使用することを目的としています。主な違いは、検索のタイプと 1 日あたりの挿入回数です。表を参照し、どのシナリオがご使用の環境に最も近いかを判断してください。Mac OS X には、次の基本的なシステム要件を推奨します。RAM およびディスク速度の処理能力が高速になるほど、SQL データベースへの操作が速くなります。

サーバーハードウェア条件はパフォーマンスに基づきます。さらに、Portfolio Server ソフトウェアは通常、高速のプロセッサ、大容量の物理メモリー、マルチプロセッサ、高速のネットワーク接続、および高速のハードドライブを利用するほど、パフォーマンスが高くなります。



Extensis 統合およびコンサルティングサービスは、通常の Extensis 技術サポートの範囲外とされている問題についてもサポートしています。たとえば、SQL データベースの設定、TCP/IP サービスの構成、DNS サービスの設定、ファイアウォールの構成などのネットワークに関する問題などです。詳細については、Extensis 法人営業部までお問い合わせください。その他の問題については、システム管理者または製品ベンダーの技術サポートにお問い合わせください。



Windows のシステム要件

	閲覧中心	インサート中心	検索中心
プロファイルの使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1日の挿入回数は少ない (5,000 回未満)</li> <li>• 複雑な検索が少ない</li> <li>• 閲覧が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1日の挿入回数は多い (5,000 回超)</li> <li>• 複雑な検索が少ない</li> <li>• 閲覧の量は普通</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1日の挿入回数は少ない (5,000 回未満)</li> <li>• 複雑な検索が多い</li> <li>• 閲覧の量は普通</li> </ul>
カタログサイズ	最大 1,000,000 レコード		
クライアント接続	最大同時接続数 16		
リソース負荷	CPU: 低 RAM: 低 ディスク: 低	CPU: 普通 RAM: 低 ディスク: 高	CPU: 高 RAM: 高 ディスク: 高
推奨最小ハードウェア	CPU: シングル 1 GHz Pentium 4 RAM: 1 GB ディスク: 36GB 7,200 RPM ATA	CPU: デュアル 2 GHz Pentium 4 RAM: 1 GB ディスク: 36GB、 7,200 ~ 10,000 RPM ATA または 36GB、 10,000 RPM SCSI	CPU: デュアル 2.8 GHz Pentium 4 または Xeon RAM: 2 GB ディスク: 36GB、 10,000 ~ 15,000 RPM SCSI
その他の条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft SQL Server 2000</li> <li>• Oracle 9i または 10g</li> <li>• MySQL 4.1.12 または 4.1.13</li> <li>• Microsoft Windows XP、Windows 2000、または Windows Server 2003</li> <li>• TCP/IP サービス</li> <li>• SQL Server へ接続する際には、適切な ODBC ドライバが必要です。</li> <li>• Oracle へ接続する際には、Oracle ODBC ドライバが必要です。</li> <li>• MySQL へ接続する際には、MyODBC コネクタが必要です。</li> </ul>		

Macintosh のシステム要件

推奨最小ハードウェア	CPU: Macintosh G3 (G4、G4 Dual 以上推奨) RAM: 1 GB
ソフトウェアの要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Mac OS X 10.3 以降</li> <li>• MySQL 4.1.12 または 4.1.13</li> <li>• MyODBC 3.51.11 (Mac OS X Tiger Server 用に構成されたドライバが必要です。)</li> </ul>

## Microsoft Windows での ODBC ドライバ および DSN の設定

Portfolio を介してカタログにアクセスするには、Portfolio Server を実行しているマシンに適正な ODBC ドライバがインストールされていることを事前に確認する必要があります。その後で SQL データベースをセットアップする必要があります。セットアップが終わったら、Portfolio SQL Connect と Portfolio Server ソフトウェアの両方をインストールすることができます。これらの Portfolio 製品のどちらにも直接的なユーザーインターフェースはありません。よって、SQL Connect にユーザーインターフェースは必要ありません。Portfolio Server へのアクセスと設定は、標準の Portfolio アプリケーションソフトウェアを使用して、リモートから行います。SQL データベースの管理を簡易化するため、多くの共通タスクを実行できる組み込みのデータベース管理ツールが用意されています。



MySQL のインストール手順と設定手順の詳細については、インストールディスクにあるファイルを参照してください。または、次の Web サイトから最新のドキュメントをダウンロードしてください。

<http://www.extensis.com/downloads/>

### SQL Server をセットアップする場合

1. SQL データベースのコンピュータ上に、新しい SQL データベースを作成します。

このタスクは、SQL データベースエンジンによって異なります。詳細については、SQL データベースエンジンに付属のユーザーマニュアルを参照してください。



Microsoft SQL Server 2000 Desktop Edition (MSDE 2000) を使用している場合は、データベースエンジンと関連データベースを Portfolio Server および SQL Connect と物理的に同じマシンにインストールする必要があります。

2. データベースエンジンが内蔵されているマシンで、データベースの管理ユーザーを作成します。

**SQL Server 2000:** このデータベースに対し、管理権限を持つユーザーを作成する必要があります。これは、標準の「sa」アカウントか、それともデータベース所有者 (dbo) 権限を持つ別のユーザーになります。「master」データベースが、作成している dbo のデフォルトデータベースであることを確認します。



Portfolio Server では Microsoft Windows の認証機能を使用することができます。この機能を使用するには、Portfolio Server Service をまず停止してください。次に Portfolio Server Files ディレクトリにある Configuration.txt を開き、次の行の最初にあるコメント (#) を削除します。

```
#AllowWindowsAuthentication=yes
```

そして構成ファイルを保存し Portfolio Server を再起動します。

Portfolio Server はデータベースあたり、1 ユーザーにつき 1 つの接続を作成します。必要に応じて、システムで許容される同時接続の最大数を増加します。たとえば、1 つの SQL サーバーから 2 つの Portfolio SQL カatalog を公開し、各データベースの接続ユーザー数が 50 の場合は (各ケースで同じユーザー集合の場合でも) SQL サーバーへの同時接続数は少なくとも 100 にする必要があります。

**Oracle 9i、Oracle 10g:** 作成する管理ユーザーは、DBA ロールが割り当てられている必要があります。

3. Portfolio Server と Portfolio SQL Connect を実行するマシンに、適正な ODBC ドライバをインストールします。

**SQL Server 2000:** Microsoft SQL Server の指示に従って、ODBC ドライバと SQL Server ドライバをインストールします。

**Oracle 9i、Oracle 10g:** Oracle Client ソフトウェア (ODBC および Oracle ドライバオプションを含む) をインストールします。「ODBC コントロールパネル」で、ステップ 2 で作成したユーザー名を使ってシステム DSN を作成します。「**ロングカラムの取得を強制する**」オプションのチェックマークがオン (有効) になっていることを確認します。

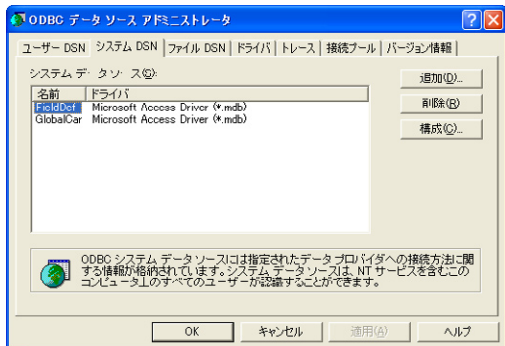
ODBC ドライバの確認 (および Oracle データベースの場合は DSN の作成) が終わったら、Portfolio SQL Connect と Portfolio Server のインストールおよびセットアップに進むことができます。



Oracle の使用時には、最新の Oracle ODBC ドライバを使用してください。最新のドライバは、Oracle の Web サイトからダウンロードしてください。  
<http://www.oracle.com/technology/software/tech/windows/odbc/index.html>  
 デフォルトの Microsoft ODBC ドライバは、SQL Connect に対応していません。

**Oracle で DSN を作成する場合**

1. 「スタート」、「コントロールパネル」、「管理ツール」、「データソース (ODBC)」の順にクリックし、「ODBC データソースアドミニストレータ」ダイアログボックスを開きます。
2. 「ODBC データソースアドミニストレータ」ダイアログボックスで、「システム DSN」タブを選択します。



3. 「追加」をクリックします。
4. 「データソースの新規作成」ダイアログボックスで、「Oracle ODBC ドライバ」を選択します。



5. 「完了」をクリックします。
6. 「Oracle ODBC ドライバ構成」ダイアログボックスに、次の情報を入力します。

**データソース名:** 追加する DSN の名前。

**サービス名:** Oracle インスタンスの名前（通常は「databasename.domain」という形式を取ります）。正しい名前については、Oracle データベース管理者にお問い合わせください。

**ユーザー ID:** Oracle データベースの有効なユーザー ID。このユーザーはデータベースの所有権を持っていない必要ありません。

**LONG 列強制取り出し:** 「Workaround」タブで、「LONG 列強制取り出し」オプションのチェックマークをオンにします。

**その他のすべてのフィールド:** 残りのフィールドについては、デフォルト設定を有効にします。



7. 「OK」をクリックして変更内容を有効にし、DSN を追加します。

## Portfolio SQL Connect のインストール

Portfolio SQL Connect は、Portfolio Server インストーラを使ってインストールします。Portfolio Server をインストールする際に SQL Connect をインストールしなかった場合は、インストーラを再実行してインストールしてください。

SQL Connect そのものにインターフェースはありませんが、データベース管理ツール（本書の後半で説明します）を介して高度なデータベース管理機能を実行することができます。Portfolio Server への基本的なアクセスは、標準の Portfolio アプリケーションソフトウェアを介して処理されます。

Portfolio SQL Connect の設定を実行するには、事前に SQL データベースをセットアップします。さらにサーバーマシン上で Portfolio SQL Connect と Portfolio Server が実行されており、サーバーにアクセスしたいマシン上で Portfolio アプリケーションを実行しておく必要があります。

## SQL データベース (Portfolio のカタログ) の公開

SQL データベースを公開するには、まず SQL データベースを公開する Portfolio Server を、サーバーのリストに追加しておく必要があります。サーバーの追加方法については、本書の「Portfolio Server」の章を参照してください。

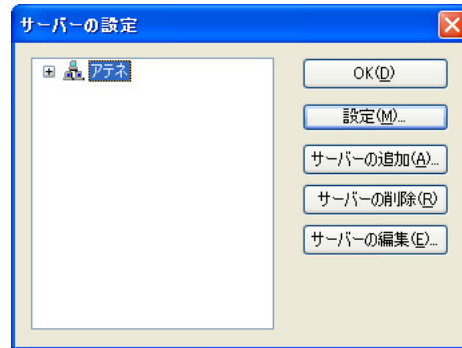
### SQL データベース (カタログ) を公開する場合

1. Portfolio クライアントアプリケーションで、「ファイル」>「サーバーの設定」を選択します。「サーバーの設定」ダイアログが表示されます。



サーバーがリストにない場合は、サーバーをリストに追加します（本書の「Portfolio Server」の章を参照してください）。

2. Portfolio Server のリストから、SQL カタログの公開に使用するサーバーを選択し、「設定(管理)」をクリックします。



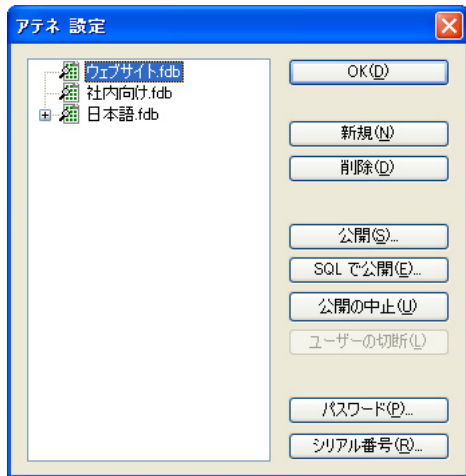
初めて管理者として Portfolio Server を管理する場合は、サーバーのシリアル番号の入力が求められます。プロンプトが表示されたら、SQL Connect のシリアル番号を入力します。この番号は通常は製品媒体に記載されています。詳細については、この章のシリアル番号の登録手順を参照してください。

3. Portfolio Server の管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。



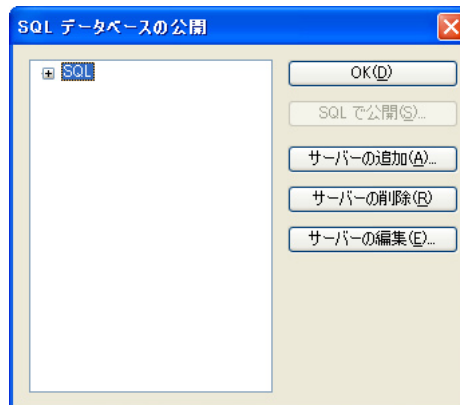
初めて管理者としてPortfolio Serverにアクセスする場合、パスワードは空白になります。パスワードを入力するか、「OK」をクリックして後でパスワードを設定します。

選択したPortfolio Serverの「サーバーの設定」ダイアログが表示されます。アクティブなユーザーを含め、すでに公開されているカタログがリストされます。



このPortfolio Server上でカタログを公開していない場合（通常は、初めてSQL Serverをセットアップする場合）、リストは空白になります。

4. 「SQLで公開」ボタンをクリックします。「SQLデータベースを公開」ダイアログボックスが表示されます。SQL Serverがセットアップされていない場合（初めてSQL Serverをセットアップする場合など）、リストは空白になります。



5. 「サーバーの追加」をクリックします。
6. 「サーバーの追加」ダイアログボックスで、ドロップダウンメニューから適切なODBCドライバを選択します。





7. SQL Server または Oracle Server のサーバー名（これは Portfolio Server に付けた名前と異なる名前であればなりません）と IP アドレスを入力します。



Portfolio は、「IP アドレス」フィールドでの IP アドレスまたは DNS 名の使用をサポートしています。



MSDE 2000 の場合は、IP アドレスを使用できません。ホストマシンの DNS 名または「(local)」のいずれかを入力します。



MS SQL Server では、「IP アドレス」フィールドに名前付きインスタンスを使用することもできます。「IP アドレス」フィールドに IP アドレスまたは DNS 名を入力し、その後バックスラッシュを付けて名前付きインスタンスを入力します。例: 10.1.5.1\MyInstance

8. SQL Server にユーザー名とパスワードを入力します。それは、SQL データベース管理に使用した名前およびパスワードと同じでも構いませんが、必要に応じて SQL Server 管理専用の別の名前およびパスワードを使用することもできます。



また、Windows 認証を介して「trusted」（信頼関係のある）ユーザーとして接続することもできます。この場合は、まず SQL Connect の設定ファイルを変更してから、「ユーザー名」フィールドに「trusted」と入力します。詳細については、本書の「設定ファイル」の章を参照してください。

9. 「OK」をクリックします。

SQL Server のサーバー名、およびその SQL Server 上で設定した SQL データベース（カタログ）がリストに表示されます。次のステップは、SQL カタログの公開です。

10. 「SQL データベースを公開」ダイアログボックスで、公開する SQL データベース（カタログ）をクリックしてハイライトし、「SQL で公開」をクリックします。

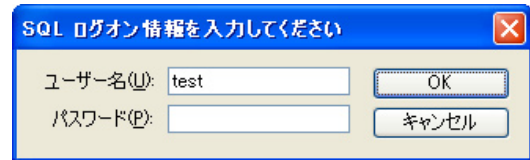
11. Portfolio Server が起動するときに、常にこのカタログを公開するかどうか質問されます。



これにより、Portfolio Server が立ち上がるたびに自動的に SQL データベース（カタログ）を公開することができます。

12. 「ログオン情報の入力」ダイアログボックスで次のことを実行します。

- **Microsoft Windows の場合:** SQL データベース管理者として作成したユーザー名とパスワードを入力します。これは、データベース所有者 (dbo) と同じユーザー名およびパスワードでなければなりません。



- **Mac OS X の場合:** DSN を作成する際、「キーワード」セクションで使用したユーザー名を入力します。

13. 「OK」をクリックします。カタログが発行者モードで開きます。

14. これで、他の Portfolio カタログとまったく同じようにこのカタログを設定および使用することができます。

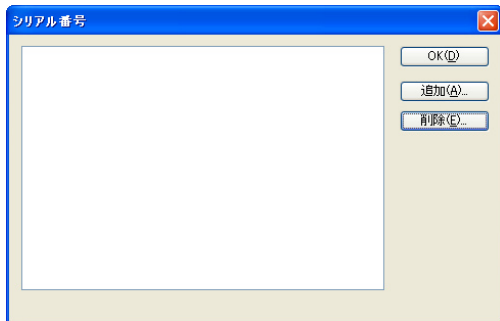
## Portfolio SQL Connect のシリアル番号の登録

Portfolio SQL Connect を正しく動作させるためには、まず Portfolio Server と Portfolio クライアントをのシリアル番号を登録しておく必要があります。

Portfolio SQL Connect のシリアル番号は、使用している SQL エンジンのタイプに直接結び付いています。たとえば、Oracle 9i を使用している場合は、そのバージョンの Oracle で SQL Connect を実行できるシリアル番号を購入する必要があります。データベースエンジンを変更する場合は、Extensis カスタマーサービスにお問い合わせの上、新しいシリアル番号を取得してください。

### シリアル番号を追加して Portfolio SQL Connect をアクティブにする場合

1. Portfolio Server をセットアップします。
2. Portfolio で「ファイル」>「サーバーの設定」を選択します。
3. 「サーバーの設定」ダイアログボックスで、サーバーをクリックして「設定（管理）」をクリックします。
4. 「設定」ダイアログボックスで、「シリアル番号」をクリックします。
5. 「シリアル番号」ダイアログボックスで、「追加」をクリックします。



6. SQL Connect のシリアル番号を入力し、「OK」をクリックします。これで、Portfolio SQL Connect のシリアル番号が「シリアル番号」ダイアログボックスにリストされます。
7. 「完了」をクリックします。



初めて Portfolio Server を管理する場合は、同じダイアログボックスにサーバーのシリアル番号の入力も求められます。

### SQL Connect のシリアル番号を削除する場合

1. Portfolio で「ファイル」>「サーバーの設定」を選択します。
2. 「サーバーの設定」ダイアログボックスで、サーバーをクリックして「設定（管理）」をクリックします。
3. 「設定」ダイアログボックスで、「シリアル登録」を選択します。
4. 削除したいシリアル番号をクリックしてハイライトします。
5. 「削除...」をクリックします。
6. 「完了」をクリックし、「サーバーの設定」ダイアログボックスに戻ります。

# SQL データベース管理ツール

Portfolio SQL Connect には、Portfolio のカタログとして公開されている SQL データベースに対して、高度なアクセスおよび管理機能を実行できるデータベース管理ツールが用意されています。

このツールを使って、通常、SQL エンジンを通して直接アクセスする一般的なタスクを実行することができます。

## データベース管理ツールのインストール

データベース管理ツール (DBA ツール) は、SQL Connect のインストーラを実行すると自動的にインストールされます。その他に DBA ツールの実行に必要なものは、Java ランタイム環境 (JRE) だけです。

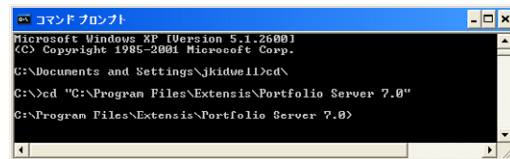
Java は、<http://java.sun.com> から無料でダウンロードできます。インストーラのダウンロードが終了したら、それを実行し、画面上の指示に従ってください。

## DBA ツールの起動

Java のインストールが終了したら、DBA ツールをコマンドラインのインターフェースから起動することができます。

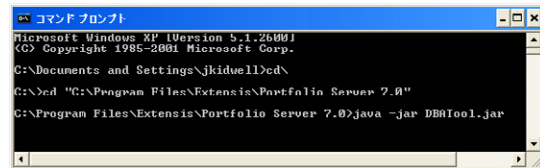
### DBA ツールを起動する場合

1. 「スタート」、「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
2. 「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスに、CMD と入力し、「OK」をクリックします。
3. コマンドラインでカレントディレクトリを Extensis Portfolio に変更します。



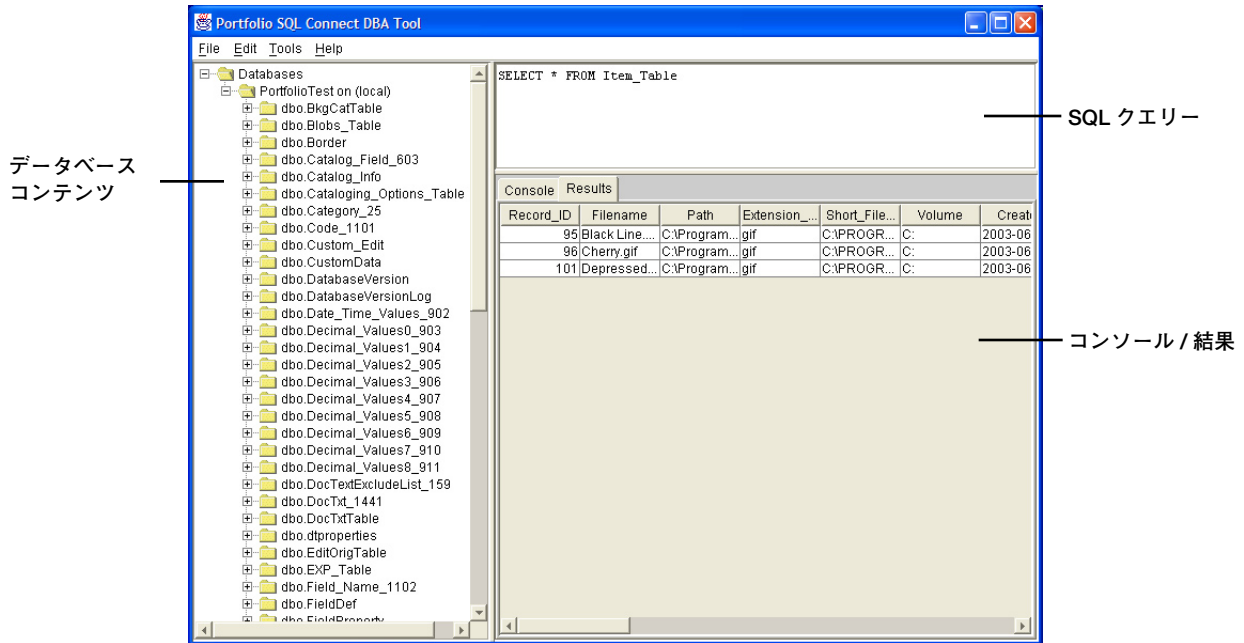
```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
C:\Documents and Settings\jkiduell>cd\
C:\>cd "C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server 7.0"
C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server 7.0>
```

4. `java -jar DBAtool.jar` と入力し、DBA ツールを起動します。



```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
C:\Documents and Settings\jkiduell>cd\
C:\>cd "C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server 7.0"
C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server 7.0>java -jar DBAtool.jar
```

## データベース管理ツール



### データベースコンテンツ

データベースコンテンツには、テーブル内のデータ列がクエリー形式で表示されます。これを使用して、テーブルの内容を表示します。

### SQL クエリー

SQL クエリーは、データベースに問い合わせするために、使います。標準の SQL クエリー言語構造でクエリーを入力します。

### コンソール / 結果

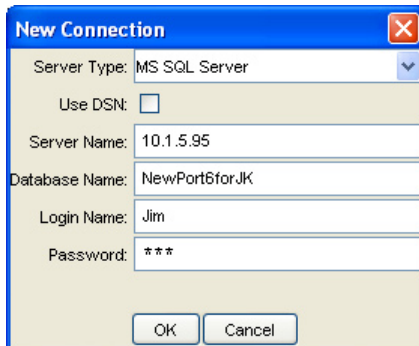
コンソール / 結果には、SQL クエリーに入力したクエリーの結果と、「ツール」メニュー上のコマンドでデータベースについて、実行したアクションの結果が表示されます。

## データベースへの接続

DBA ツールが立ち上がると、「新規接続」ダイアログボックスが自動的に表示されます。希望するデータベースエンジンの接続手順に従います。

### SQL Server データベースに接続する場合

1. 「ファイル」、「接続」の順にクリックし、「新規接続」ダイアログボックスを表示します。
2. 「サーバータイプ」メニューから、「MS SQL Server」を選択します。
3. 接続するデータベースの DSN ファイルを作成した場合は、「Use DSN」にチェックマークを入れ、DSN 名を入力します。ステップ 5 に進みます。
4. DSN 名を使わずに接続する場合、サーバー名とデータベース名を入力します。データベースのフィールドが空のままの場合は、デフォルトのデータベースに接続されます。



データベース名、ログイン名、およびパスワードは大文字小文字が区別されることがあります。大文字小文字が区別されるかどうかは、SQL Server をインストールした方法によって異なります。



ローカルデータベースに接続するには、サーバー名「localhost」を使用することができます。

5. ログイン名とパスワードを入力します。DSN を使って接続している場合、ユーザー名とパスワードは DSN の場合と異なります。

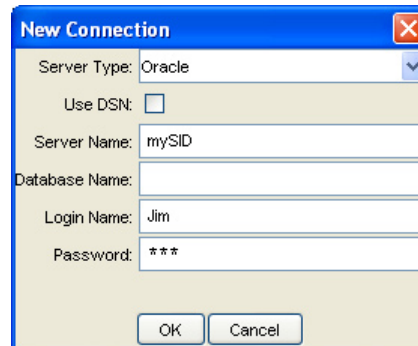


データベース名、ログイン名、およびパスワードは大文字小文字が区別されることがあります。大文字小文字が区別されるかどうかは、SQL Server をインストールした方法によって異なります。

6. 「OK」をクリックしてデータベースに接続します。

### Oracle データベースに接続する場合

1. 「ファイル」、「接続」の順にクリックし、「新規接続」ダイアログボックスを表示します。
2. 「サーバータイプ」メニューから、「Oracle」を選択します。
3. 接続するデータベースの DSN ファイルを作成した場合は、「Use DSN」にチェックマークを入れ、DSN 名を入力します。ステップ 5 に進みます。
4. DSN を使わずに接続するには、Oracle SID を入力します。データベースのフィールドを空のままにすると、デフォルトのデータベースに接続されます。



5. ログイン名とパスワードを入力します。DSN を使って接続している場合、ユーザー名とパスワードは DSN の場合と異なります。
6. 「OK」をクリックしてデータベースに接続します。

### MySQL データベースに接続する場合

1. 「ファイル」、「接続」の順にクリックし、「新規接続」ダイアログボックスを表示します。
2. 「サーバータイプ」ドロップダウンメニューから、「MySQL」を選択します。
3. 接続するデータベースの DSN ファイルを作成した場合は、「Use DSN」にチェックマークを入れ、DSN 名を入力します。ステップ 5 に進みます。
4. DSN 名を使わずに接続するには、サーバー名とデータベースを入力します。



ローカルデータベースに接続するには、サーバー名「localhost」を使用することができます。

5. ログイン名とパスワードを入力します。DSN を使って接続している場合、ユーザー名とパスワードは DSN の場合と異なります。
6. 「OK」をクリックしてデータベースに接続します。

### データベースバージョンのアップグレード

Portfolio の SQL データベース（カタログ）がすでにある場合、最初に実施する作業の 1 つが、古いバージョンから新しいバージョンへのスキーマの更新です。

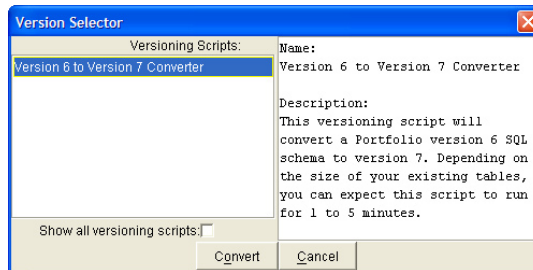
このプロセスでは、最初に、現在実装されているスキーマのバージョンを確認します。

#### データベースのバージョンを確認する場合

1. 「ツール」、「データベース」、「バージョン更新」、「現在のバージョンの表示」の順にクリックします。
2. コンソール / 結果ペインにバージョン番号が表示されます。

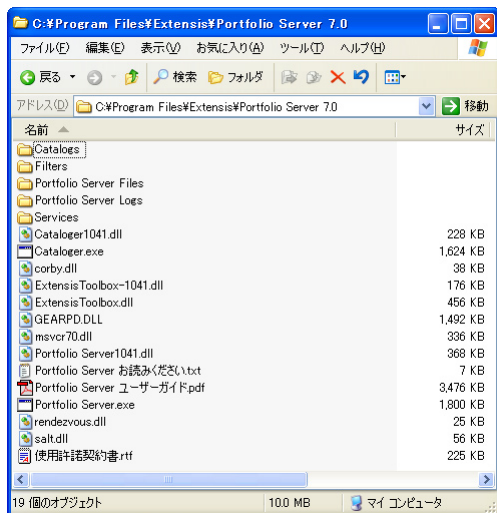
#### データベースのバージョンをアップグレードする場合

1. 「ツール」、「データベース」、「バージョン更新」、「バージョンをアップグレード」の順にクリックします。
2. 現在接続されているデータベースに関連するアップグレードスクリプトが「バージョンセレクト」ダイアログボックスにリストされます。適切なスクリプトをクリックして「変換」をクリックします。



必要なスクリプトが表示されない場合は、「すべてのバージョン更新スクリプトを表示する」オプションのチェックマークをオンにします。

コンソール / 結果で、データベース変換の結果を確認します。正確な変更内容の詳細については、¥¥Program Files¥Extensis¥Portfolio Server ディレクトリ内のログファイルを参照してください。



## SQL クエリーの実行

DBA ツールでは、標準の SQL クエリーを実行することができます。コンソール / 結果ペインにクエリーの結果が表示されます。

### SQL クエリーを実行する場合

1. SQL クエリーのパレット上に SQL クエリーを入力します。

– または –

「ファイル」、「ロード」、の順にクリックし、保存されている SQL クエリースクリプトにナビゲートします。テキストファイルはすべてクエリーとしてロードすることができます。

2. 「ツール」、「実行」の順にクリックするか、F5 キーを押します。

コンソール / 結果にクエリーの結果が表示されます。



複数クエリーの一括処理は MS SQL Server ではサポートされていますが、Oracle または MySQL では使用できません。

### SQL クエリーを保存する場合

1. SQL クエリーのパレット上に SQL クエリーを入力します。SQL クエリーペインの内容全体がスクリプトファイルに保存されます。
2. 「ファイル」、「保存」の順にクリックします。
3. ファイルの名前を入力し、「保存」をクリックします。クエリーはテキストファイルとして保存されるので、DBA ツールでクエリーとして再ロードすることができます。

## DBA ツールのトラブルシューティング

SQL データベースへのログイン、またはデータベーススキーマのアップグレードで問題が発生した場合は、次の表で、一般的な問題のヘルプを参照してください。

問題 / エラーメッセージ	有効な解決策
ユーザー「username」のログインに失敗しました。	<p>通常、このエラーの原因はユーザー名またはパスワードのスペルミスにあります。スペルを確認し、ログインを再度試みてください。</p> <p>問題が解決されない場合は、MS SQL Server Enterprise マネージャを使用して、そのデータベースの所有権を持つ新しいログイン名とパスワードを作成します。この新しいログイン情報を使用して DBA ツールでログインします。</p>
SQL Server が存在しません、またはアクセスが拒否されました。	<p>通常、このエラーの原因はサーバー名または IP アドレスのスペルミスにあります。スペルを確認し、ログインを再度試みてください。</p> <p>DSN ファイルを使用している場合は、DSN ファイルの問題が原因でこのエラーメッセージが表示されることもあります。「ODBC データソースアドミニストレータ」ダイアログボックスを再確認し、DSN ファイルが正しく作成されていることを確認します。「スタート」、「コントロールパネル」、「管理ツール」、「データソース (ODBC)」の順にクリックしてダイアログボックスを開きます。DSN 構成を確認し、ログインを再度試みてください。</p>
ログイン「databasename」で要求したデータベースを開くことができません。ログインに失敗しました。	<p>通常、このエラーの原因は具体的なサーバーに存在しないデータベースにログインしようとしたことにあります。正しいサーバーにログインしていること、およびサーバー名とデータベースのスペルが間違っていないことを確認してください。</p>
データソース名が見つからず、デフォルトドライバが指定されていません。	<p>このエラーは、データベースエンジンの ODBC ドライバが正しくインストールされていない場合に発生します。「スタート」、「コントロールパネル」、「管理ツール」、「データソース (ODBC)」の順にクリックし、「ODBC データソースアドミニストレータ」ダイアログボックスを開きます。「ドライバ」タブを選択し、データベースドライバがあるかどうか、リストで確認します。データベースエンジンの ODBC ドライバがリストにない場合は、新しいドライバのインストール方法について、データベースエンジンのマニュアルを参照してください。</p>
バージョン 7 からバージョン 8 へのデータベーススキーマのアップグレードが失敗しました。	<p>バージョンの更新処理はスクリプト V7toV8Converter.jar を利用します。このファイルは SQL Connect と一緒にインストールされ、ディレクトリ C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\Versioning\ に入っています。このファイルが存在しない場合は、SQL Connect を再インストールしてください。</p> <p>バージョンの更新処理は、オリジナルのデータベースに壊れたデータが入っている場合にも失敗することがあります。修復コマンド（「ツール」、「データベース」、「修復」、の順にクリック）を使用して、データベースを修復してから、再び変換してください。</p> <p>バージョンアップグレードスクリプトの実行を試みるたびに、ログファイルが作成されます。ログファイルは Portfolio Server ディレクトリ内に作成され、データベースの変換およびその後続く直前のステータスへの復元を追跡します。このファイルを調べて、変換がどのポイントで失敗したかを判別することができます。また、変換が失敗した原因と考えられるデータの型を判別することもできます。</p>



# 設定ファイル

Portfolio Server および SQL Connect は、設定ファイルを使用して機能を制御しています。このファイルを使って、サーバーがクライアント接続を受信待機する IP アドレスとポートを制御することができます。また、Windows 認証による SQL データベースとの信頼関係のある接続を許可したり、エラーロギング機能を有効にしたりすることもできます。

設定ファイルは configuration.txt で、サーバー上のディレクトリ ¥Program Files¥Extensis¥Portfolio Server¥Portfolio Server Files¥に入っています。このファイルはテキストエディタでも編集することができます。

## Windows 認証による SQL データベース接続の許可

Portfolio SQL Connect と MS SQL Server では、Windows 認証を使ってデータベースとの信頼関係のある接続を確立することができます。

### Windows 認証による接続を許可する場合

1. テキストエディタで configuration.txt を開きます。
2. 次の行からコメント (#) を外します。  
#AllowWindowsAuthentication = yes
3. ファイルを保存します。

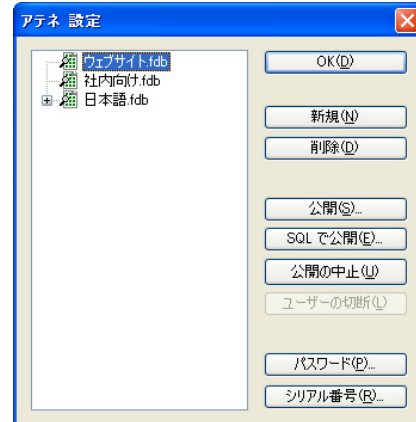
### Windows 認証による信頼関係のある接続を有効にする場合

1. 信頼関係のある接続を確立したいクライアントマシン上で Portfolio を開きます。
2. 「ファイル」>「サーバーの設定」を選択します。

3. SQL Server がすでにセットアップ済みの場合は、リストから選択し、「設定 (管理)」をクリックします。選択した Portfolio Server の「サーバーの設定」ダイアログが表示されます。アクティブなユーザーを含め、すでに公開されているカタログがリストされます。

SQL Server をまだセットアップしていない場合は、本書の前半で説明した「SQL データベース (Portfolio カタログのカタログ) の公開」を参照してください。

4. 「データベース管理」ダイアログボックスで、カタログをクリックして「公開」をクリックします。



5. 「SQL データベースを公開」ダイアログボックスで、サーバーをクリックして「サーバーの編集」をクリックします。

6. 「サーバーの編集」ダイアログボックスで、「trusted」というユーザー名（すべて小文字）を入力します。



ユーザー名「trusted」を入力する場合は、事前に configuration.txt ファイルを編集しておく必要があります。

7. 「OK」をクリックしてサーバー設定を更新します。
8. 「完了」をクリックして、残りの各ダイアログボックスの変更を有効にします。

## IP アドレスとポートの設定

デフォルトでは、Portfolio Server と SQL Connect は、サーバー上で、すべての IP アドレスを受信待機しています。デフォルトポートは 2903 です。また、使用する IP アドレス / ポートを変更することができます。

### 具体的な IP アドレスとポートを設定する場合

1. テキストエディタで configuration.txt を開きます。
2. 具体的な IP アドレスを設定するには、次の行からコメント（#）を外し、IP アドレスを希望するアドレスに変更します。  
#ListenerIP = 127.0.0.1
3. デフォルトのポートアドレスを 2093 から変更するには、次の行からコメント（#）を外し、ポート番号を編集します。  
#ListenerPort = 2904
4. ファイルを保存します。
5. 次のページの手順に従って、Portfolio Server のサービスを再起動します。

## データベースイベントのロギング

Portfolio Server や SQL データベースの問題を診断できるように、Windows イベントログ（Win）または Portfolio Server ログ（Mac）に一般的なデータベースの実行を保存することができます。デフォルトでは、シャットダウンとエラーメッセージがログに保存されます。

ログに追加できる操作は次のとおりです（設定ファイルコマンド別にリストします）。

コマンド	アクション
PERFORMANCE	選択されたパフォーマンス測定値をログに記録する
CONNECTION	すべての着信接続をログに記録する
REQUEST	すべての着信要求をログに記録する
DB_DATALAYER	データ層内の操作をログに記録する
DB_REMOTESTORE	リモートファイルストア内の操作をログに記録する
DB_SQLSTORE*	SQL 操作をログに記録する
DB_CTREESTORE	CTree 操作をログに記録する
DB_QUERY*	データベースエンジンに送られた実際の SQL クエリーをログに記録する
DB_DATAMANAGER	データマネージャ操作をログに記録
GENERAL_DEBUG	一般的なデバッグ情報をログに記録
AUTO_SYNC	オートシンク操作をログに記録する
* SQL Connect のみ	

### ログに記録する項目を変更する場合

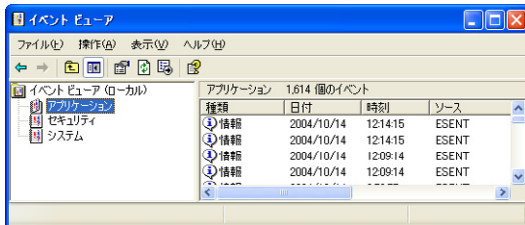
1. テキストエディタで configuration.txt を開きます。
2. 具体的なログカテゴリを有効にする場合は、次の行からコメント（#）を外します。

```
#LogCategories =
```

3. トラッキングする操作をコンマで区切って追加します。例：  
LogCategories = PERFORMANCE, CONNECTION
4. ファイルを保存します。
5. 次の手順に従って、Portfolio Server のサービスを再起動します。

### イベントビューアを使用して Windows イベントログを表示する場合

1. 「スタート」、「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「管理ツール」を選択します。
3. 「イベントビューア」を選択します。
4. 「イベントビューア」で、Portfolio 項目は「アプリケーションログ」の下にリストされています。「アプリケーションログ」をクリックし、ログ項目のリストを表示します。



### Portfolio Server サービスの再起動

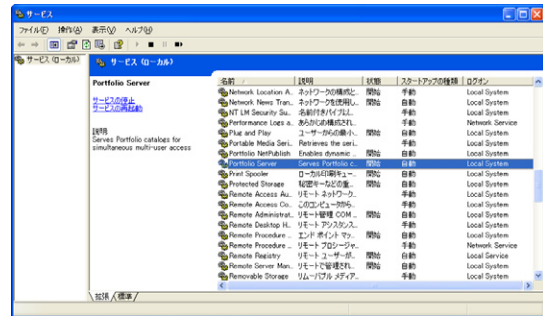
IP アドレス、ポート、およびログカテゴリを変更した場合は、Portfolio Server のサービスを再起動する必要があります。



サービスを再起動すると、現在のすべてのユーザーがサーバーから切断されます。ユーザーへの影響が最も小さい時間を選択するようにしてください。

### Portfolio Server のサービスを再起動する場合

1. Portfolio Server が実行されているマシンで、「スタート」、「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「コントロールパネル」で、「管理ツール」、「サービス」の順にクリックします。
3. 「サービス」アプリケーションのリストで、Portfolio Server をクリックします。



4. リストから「再起動」を選択します。または、「停止」、「開始」の順にクリックします。



# 索引

## D

- DBA ツール 21
  - SQL クエリーの実行 25
  - インストール 21
  - 立ち上げ 21
  - データベースバージョンのアップグレード 24
  - データベースへの接続 23
- DSN
  - Oracle 16

## E

- Extensis 社の連絡先 ii

## O

- ODBC ドライバ 15
- Oracle 15

## P

- Portfolio Server
  - 管理 6
- Portfolio Server サービスの再起動 29
- Portfolio Server の追加追加 5

## S

- SQL クエリーの実行
  - DBA ツール 25
- SQL データベースの公開 17
- SQL Connect のインストール 17

- SQL Server のセットアップ 15

## W

- Windows イベントログ 29
- Windows 認証による接続 27

## い

- イベントビューア 29
- インストール
  - Portfolio Server 4

## お

- オートシンクフォルダ
  - 停止 12
  - 作成 10
  - 設定の変更 11

## か

- カタログ
  - 公開を中止 8
  - 作成 6
- カタログ管理 3
- カタログの公開 8
- 管理者のパスワード 9

## こ

- 公開されているカタログへのアクセス権のユーザーへの付与 7
- 構成ファイル
  - SQL Connect 27

## さ

- サーバー管理 3
- サーバー管理者のパスワード 9
- サーバー管理とカタログ管理 3
- サポート 1

## し

- システムの必要条件
  - Portfolio Server 4
  - SQL Connect 13
- シリアル番号の登録削除 9
- シリアル番号の入力
  - SQL Connect 20

## て

- データベースイベント
  - ロギング 28
- データベースイベントのロギング 28

## ゆ

- ユーザーの切断 9

## れ

- 連絡先 ii





